ISSN 1882-5230

むかわ町
穂別博物館館報

第３８号

令和２（２０２０）年度版

むかわ町穂別博物館

目　　　次

第Ⅰ章　展示活動　--------(p. 1)

第Ⅱ章　教育普及活動　--------(p. 3)

第Ⅲ章　調査研究活動　--------(p. 9)

第Ⅳ章　資料収集保存活動　--------(p. 11)

第Ⅴ章　広報活動　--------(p. 16)

第Ⅵ章　管理・運営　--------(p. 20)

第Ⅶ章　観覧者状況　--------(p. 24)

第Ⅷ章　施設の沿革　--------(p. 25)

第Ⅸ章　施設の概要　--------(p. 29)

第Ⅰ章　展示活動

Ⅰ－１　常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示資料】

令和 2（2021）年 3 月 31 日現在　　※：レプリカ含む
展示資料数：465 点
化石（411）
中生代（328）
脊椎動物（46）：魚類（11）、爬虫類（35）（恐竜 2※、長頸竜 8※、モササウルス 18※、カメ 7※）
軟体動物（251）：頭足類（191）、腹足類（10）、斧足類（49）、掘足類（1）
その他動物（16）：節足動物（7）、棘皮動物（6）、刺胞動物（3）
植物（13）
生痕化石（2）
新生代（83）
脊椎動物（15）：魚類（4）、哺乳類（11）（クジラ 9、束柱類 2※）
軟体動物（56）：腹足類（25）、斧足類（27）、掘足類（4）
その他動物（4）：節足動物（3）、棘皮動物（1）
植物（8）
現生生物（11）
脊椎動物（3）：爬虫類（カメ 3）
軟体動物（2）：頭足類 2
その他動物（5）：節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2
植物（1）
岩石・鉱物（31）
全身復元骨格（3）：爬虫類（3）（長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1）
生体復元模型（2）：爬虫類（1）（モササウルス 1）、哺乳類（1）（デスモスチルス 1）
その他模型（3）（長頸竜 1、地形 1、「白亜紀の海」ジオラマ 1）
映像（4）

【常設展示の変更等】

令和 2（2020）年 5 月 29 日　展示室にイラストの追加
・「中生代の植物」コーナーに「きょうりゅうのサン」のイラスト追加
・イノセラムス展示コーナーに「いのせらたん」紹介パネルの追加
令和 2（2020）年 8 月 27 日　展示室のモササウルス類展示の変更
・実物化石 2 標本（HMG-2009、HMG-2010）の展示
・モササウルス類化石レプリカ HMG-1848（元標本 OTBE Obr-3609 小平町教育委員会所蔵）の撤収

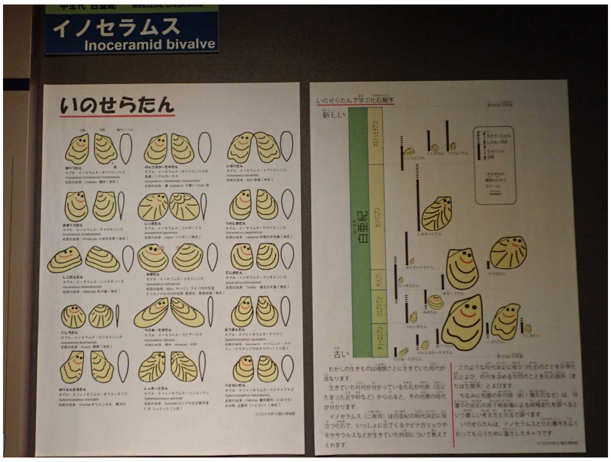
Ⅰ－２　企画展等

【特別展】

名称：「カムイサウルス発掘展」
会期：令和２（2020）７月１日−11 月 29 日
会場：特別展示室
内容：カムイサウルスの発見から論文発表（学術名命名）について、パネルで紹介するとともに、発掘道具などの展示を行う。パネルについては博物館 HP 内で公開。

【町民文化祭出展】

名称：「第 63 回穂別地区町民文化祭」
会期：令和２（2020）年 10 月 23 日－25 日
会場：穂別町民センター
内容：カムイサウルス足跡展示（ソーシャルディスタンシング）



いのせらたん紹介パネル（20.5.29）

モササウルス新規標本の展示（20.8.27）

カムイサウルス発掘展

町民文化祭

第Ⅱ章　教育普及活動

※利用者の区分は以下のとおり
幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

Ⅱ－１　博物館事業

（穂別博物館の主催・共催事業）

【むかわ町子ども化石くらぶ】
（ハドロキッズチーム）

＜第 1 回＞
実施日：令和 2（2020）年 8 月 23 日
① 9:30－12:15　5・6 年生（13 名）
博物館ボランティア 4 名
卒業生ボランティア 1 名
②13:30－15:55　3・4 年生（12 名）
博物館ボランティア 4 名
会場：穂別町民センター
内容：ガイダンス
外部講師の講義（三重県立総合博物館　大野照文館長「三葉虫を調べよう」）

＜第 2 回＞
実施日：①令和 2（2020）年 9 月 20 日
5・6 年生（13 名）
博物館ボランティア 3 名
卒業生ボランティア 1 名
博物館実習生 1 名
②令和 2（2020）年 9 月 21 日
3・4 年生（11 名）
博物館ボランティア 2 名
卒業生ボランティア 1 名
博物館実習生 1 名参加
会場：むかわ町穂別地域内
内容：化石採集体験

＜第 3 回＞
実施日：令和 2（2020）11 月 1 日
①午前　5・6 年生（11 名）
ボランティア 5 名
穂別高校ボランティア 1 名
②午後　3・4 年生（11 名）
ボランティア 3 名
卒業生ボランティア 1 名
会場：恐竜化石カムイサウルス発掘地
内容：化石採集体験
保護者向け活動：バックヤードツアー、カムイサウルスの歯を探そう
①午前　小 3・大 8
②午後　小 2・大 9

＜補習＞
①令和 2（2020）年 12 月 20 日　4 名
②令和 2（2020）年 12 月 27 日　4 名
③令和 3（2021）年 1 月 10 日　3 名

＜ポスター展覧会＞
実施日：令和 3（2021）年 2 月 13 日-3 月 28 日
会場：穂別博物館　特別展示室
内容：追加開催。会員児童提出のポスター（事務局で A0 用紙出力）もしくは感想文の掲示（観覧無料、自分以外のポスター撮影禁止）。

【動画サイト制作】
YouTube 公式チャンネル開設（https://www.youtube.com/channel/UCfawoWIBTHv7NaWst7UVohg）
開設日：令和 2（2020）年 7 月 20 日
内容：館内放映の映像の視聴可

子ども化石くらぶ　第 1 回（20.8.23）

子ども化石くらぶ　第 2 回（20.9.20）

Ⅱ－２　運営協力等

【カムイサウルス２体目製作】

主催：恐竜ワールド戦略室
①「むかわ竜着色イベント」
実施日：令和２（2020）年９月 19 日
会場：穂別町民センター
内容：クラウドファンディングリターンによる、むかわ竜レプリカの着色イベント
②「むかわ竜２体目レプリカ町民お披露目会」
実施日：令和２（2020）年９月 26 日・27 日
会場：穂別町民センター
内容：むかわ竜２体目レプリカの町民向け公開

【カムイサウルスレプリカ公開】

主催：恐竜ワールド戦略室
実施日：令和３（2021）年３月 20 日・21 日
会場：道の駅「むかわ四季の館」たんぽぽホール
見学者：800 人
内容：クラウドファンディングによって作製されたカムイサウルスレプリカ（２体目）の鵡川地区での町民公開。レプリカ１体目と並んで公開。むかわ町と MoU を締結したモンゴル国科学アカデミー古生物学研究所の協力により、モンゴル産恐竜化石の頭骨レプリカ３体も合わせて展示した。
＜普及講演会＞
実施日：令和３（2021）年３月 20 日 17:00－18:00
会場：道の駅むかわ四季の館　たんぽぽホール
講演者：小林快次教授（北海道大学総合博物館）
題名：「恐竜発掘最前線！」
参加者：80 人

【カムイサウルス化石写真（実物大）展示】

実施日：令和２（2020）年８月７日
会場：道の駅「むかわ四季の館」入口ホール
内容：カムイサウルスを町内外へ周知を図るため、実物大全身化石写真を道「四季の館」に展示。

【特別企画展「北海道の恐竜」】

主催：北海道博物館
会期：令和３（2021）年２月 12 日－3 月 14 日
会場：北海道博物館（札幌市厚別区）
内容：当町で発見されたカムイサウルスほか、北海道内で研究された７つの恐竜化石の一挙公開と合わせて、当時の海や空の生物なども展示し、恐竜世界のロマンと化石を通してみた北海道の魅力を紹介する特別企画展。完全予約制で実施。当初は令和２年度の夏に予定されていたものの、新型コロナウイルス感染拡大によって冬に変更となった。
対応：
(1) 展示準備
内容：カムイサウルス実物化石片付け
実施日：令和３（2021）年２月３－４日
会場：北海道博物館
担当：西村学芸員・中村学芸補助員・阿部学芸補助員・吉川学芸補助員・村上ボランティア・星野ボランティア・中野ボランティア
(2) 展示片付け
内容：カムイサウルス実物化石片付け
実施日：令和３（2021）年３月 15 日
会場：北海道博物館
担当：西村学芸員・中村学芸補助員・阿部学芸補助員・吉川学芸補助員・村上ボランティア・星野ボランティア・中野ボランティア
(3) 資料返却等
①むかわ竜実物化石返却
実施日：３月 16 日
会場：かせき学習館（実物化石の受け取り）
　　　旧仁和中保管庫（展示台の搬入）
②ティラノサウルス頭骨レプリカ入替
実施日：３月 24 日
会場：穂別博物館展示室
③エドモントサウルス頭骨レプリカ返却
実施日：３月 25 日
会場：かせき学習館

むかわ竜レプリカ公開（21.3.20-21）

特別企画展「北海道の恐竜」（北海道博物館）

【ディノ・ネット　デジタル恐竜展示室】

文化庁「文化芸術収益力強化事業」
（受託：凸版印刷株式会社）

(1) デジタルアーカイブ
形態：インターネット上に開設（dino-net.jp）
開設日：令和 3（2021）年 1 月 19 日
内容：
①カムイサウルス頭骨 3D データ
②むかわ町穂別博物館展示室 360°バーチャルツアー

(2) 有料オンライン講座
形態：インターネット配信による有料講座
実施日：令和 3（2021）年 2 月 6 日 17：00-
（見逃し配信翌日まで）
内容：第 1 回「カムイサウルス発掘同窓会」
下記から 2 元中継
①穂別博物館：櫻井館長・堀田良幸氏（カムイサウルス第一発見者）・栗原健一氏（むかわ町恐竜ワールドセンター）
②北海道博物館：小林快次教授（北海道大学総合博物館）・西村学芸員・太田晶主事（恐竜ワールド戦略室）
販売チケット数：445 枚

【チコちゃんといっしょに課外授業】

文化庁「文化芸術収益力強化事業」
（受託：NHK エンタープライズ）
形態：インターネット配信による有料講座
実施日：令和 3（2021）年 1 月 23 日-
（見逃し配信 2 月 26 日まで）
題名：「ダイナソー小林×クイズノック！わくわく研究室＠北大総合博物館」
内容：第一部に櫻井館長録画出演。ホベツアラキリュウ・カムイサウルスなど紹介

【札幌国際芸術祭 SIAF2020】

3 年に一度、札幌を舞台に開催される国際的な芸術祭。初開催は 2014 年、2 回目は 2017 年。2020 年では初めて冬の開催を予定したものの、新型コロナウイルス感染拡大により中止。公開予定だった作品や開催予定だったイベントをインターネットによって配信した。開催されていれば、むかわ竜レプリカ（2 体目）が会場に展示される予定だった。

形態：関係者による対談（収録）を、インターネットによる無料配信
実施日：令和 3（2021）年 2 月 14 日 17:00－
題名：SIA ドキュメント TV「対決！　Senster vs むかわ竜」
内容：櫻井館長出演。展示予定だったむかわ竜レプリカと、巨大な動刻 Senster の魅力を紹介した。

【しらおいポロトミンタラフェスティバル 2020】

白老町民族共生象徴空間（ウポポイ）が開設したことを記念し、来町された方々へのおもてなしのイベントを開催。10 月 10 日に開催された「ひだか・いぶりウェルカムイベント」に参加した。

主催：白老町／北海道胆振総合振興局
開催日：令和 2 年 10 月 10 日
会場：白老駅北インフォメーションセンター　ポロトミンタラ特設ブース
内容：カムイサウルスの PR（頭骨レプリカ・大腿骨レプリカ等の展示）

【北海道いぶり五大遺産ポスター展】

胆振管内住民への北海道いぶり五大遺産の価値・魅力の発信及び地域公共交通の利用を促進するため、普段から地域住民が利用している路線バスの車内広告を活用したポスター展を開催。

主催：北海道胆振総合振興局
開催期間：令和 3（2021）年 1 月 12 日－3 月 31 日（カムイサウルスの紹介は、3 月 1 日－3 月 15 日）
開催場所：胆振管内路線バス 6 台（道南バス 5 台・あつまバス 1 台）の車内 B3 ポスター広告部分及びバス後方バックステッカー

「カムイサウルス発掘同窓会」

SIAF2020index（図録）

【出前講座】

(1) 札幌市社会福祉協議会「終活セミナー」
　実施日：令和 2（2020）年 7 月 22 日
　会場：札幌市社会福祉総合センター
　対応：櫻井館長
　参加者：大 30

(2) 北海道文化財保護協会「文化財セミナー」
　実施日：令和 2（2020）年 9 月 4 日
　会場：北海道立道民活動センターかでる 2・7
　対応：櫻井館長
　参加者：大 40

(3) 苫小牧市中央図書館「郷土セミナー」
　実施日：令和 2（2020）年 9 月 12 日
　会場：苫小牧市中央図書館
　対応：櫻井館長
　参加者：大 30

【取材対応等】

(1) 穂別博物館 PR 画像の撮影
　実施日：令和 2（2020）年 9 月 25 日
　担当：株式会社インサイト、HTB 映像株式会社

(2) 小林快次教授研究の化石の撮影
　実施日：令和 2（2020）年 9 月 28 日、10 月 23 日、10 月 24 日
　担当：植田和貴ディレクター（NHK エンタープライズ）

北海道文化財保護協会「文化財セミナー」（20.9.4）

苫小牧市立中央図書館セミナー（20.9.12）

Ⅱ－３　見学対応等

Ⅱ－３－１　各種団体等の利用

【町内学校・教育関係団体】

(1) 令和 2（2020）年 6 月 19 日　北海道鵡川高等学校 1 年「むかわ学」（出前授業）（小 46・大 6）
(2) 令和 2（2020）年 7 月 1 日　穂別小学校 4 年「化石学習①」（展示見学）（小 15・大 2）
(3) 令和 2（2020）年 7 月 8 日　鵡川中学校 1 年「むかわ学」（出前授業）（小 41・大 6）
(4) 令和 2（2020）年 7 月 9 日　北海道鵡川高等学校 1 年「むかわ学」（展示見学・化石採集・化石クリーニング）（小 44・大 6）
(5) 令和 2（2020）年 7 月 14 日　鵡川中学校 1 年「むかわ学」（展示見学・化石採集・化石クリーニング）（小 39・大 4）
(6) 令和 2（2020）年 7 月 15 日　宮戸小学校３・4 年「地域学習」（展示見学）（小 5・大 1）
(7) 令和 2（2020）年 7 月 16 日　北海道穂別高等学校 1 年「穂別ウォークラリー」（展示見学）（小 10）
(8) 令和 2（2020）年 7 月 21 日　穂別小学校 4 年「化石学習②」（化石採集）（小 15・大 2）
(9) 令和 2（2020）年 8 月 26 日　穂別小学校 4 年「化石学習③」（化石クリーニング、レプリカづくり：穂別小学校実験室）（小 15・大 3）
(10) 令和 2（2020）年 9 月 16 日　北海道穂別高等学校 1 年「バス見学会」（展示見学・化石採集・化石クリーニング）（小 8・大 3）
(11) 令和 2（2020）年 10 月 6 日　北海道穂別高等学校 3 年「地学基礎」（出前授業・化石レプリカづくり：穂別高校実験室）（小 20・大 3）
(12)令和 2（2020）年 10 月 13 日-15 日　北海道穂別高等学校 2 年「インターンシップ」（職場体験）（小 1）

【町内各種団体】

(1) 令和 2（2020）年 4 月 15 日　むかわ町役場新規採用職員研修（展示案内・講話）（大 15）
(2) 令和 2（2020）年 7 月 30 日　むかわ町文化財審議会（大 10）

【町外団体の利用】

(1) 令和 2（2020）年 7 月 21 日　第 1 回胆振管内社会教育主事等研修会（展示見学）（大 16）
(2) 令和 2（2020）年 9 月 19 日　カムイサウルスレプリカ CF 着色イベント参加者（展示見学）（大 13・小 4）
(3) 令和 2（2020）年 9 月 30 日午後　山形大学　地質巡検（博物館展示・バックヤード案内・野外博物館見学・カムイサウルス 2 体目見学）（大 39）

Ⅱ－３－２　その他の利用

【資料調査等】

(1) 令和 2（2020）年 9 月 18 日　石森秀三館長・圓谷昂史学芸員（北海道博物館）：収蔵資料調査
(2) 令和 2（2020）年 9 月 26 日　川辺英行主査・大野晋主査（旭川市科学館）：収蔵資料調査
(3) 令和 2（2020）年 10 月 11 日　なかがわ化石会（大 7）：収蔵資料調査
(4) 令和 2（2020）年 11 月 11 日　千葉直樹学芸員（東北歴史博物館）：展示資料調査
(5) 令和 2（2020）年 12 月 30 日　白藤優一（北海道大学文学部）：課題研究調査
(6) 令和 3（2021）年 2 月 25 日　薗田哲平研究員・中田健太郎研究員（福井県立恐竜博物館）：借用資料調査

【視察】

(1) 令和 2（2020）年 6 月 18 日　長尾和宏主幹（北海道胆振総合振興局地域政策課）ほか（大 6）
(2) 令和 2（2020）年 8 月 22 日　大野照文館長（三重県立総合総合博物館）（大 1）
(3) 令和 2（2020）年 8 月 26 日　丸田之人課長（室蘭市経済部観光課）ほか（大 2）
(4) 令和 2（2020）年 8 月 27 日　北海道議会環境生活委員会道内調査　北海道議会議員 11 名ほか（大 25）
(5) 令和 2（2020）年 9 月 9 日　北海道観光振興機構「東胆振観光資源調査」　胆振総合振興局・株式会社 JTB ほか（大 6）
(6) 令和 3（2021）年 3 月 25 日　長田和夫課長（北海道生涯学習協会　学習振興課）（大 3）

【取材対応】

(1) 令和 2（2020）6 月 20 日　JR 東日本新幹線車内誌「トランヴェール 8 月号」取材：株式会社レマン（大 3）
(2) 令和 2（2020）年 7 月 10 日　穂別博物館 PR 動画撮影：HBC フレックス（大 2）
(3) 令和 2（2020）年 9 月 18 日　穂別博物館 PR 動画撮影：HTB 映像株式会社（大 6）
(4) 令和 2（2020）年 9 月 25 日　穂別博物館 PR 動画撮影：株式会社インサイト（大 6）
(5) 令和 2（2020）年 10 月 21 日　日テレ「北海道すたいる」撮影：株式会社札幌映像プロダクション（大 4）
(6) 令和 2（2020）年 10 月 22 日　雑誌「旅人類」撮影：有限会社プラン・プロデュース（大 6）
(7) 令和 2（2020）年 10 月 28 日　札幌国際芸術祭 SIAF2020 取材：札幌国際芸術祭 SIAF2020 実行委員会（大 4）
(8) 令和 2（2020）年 11 月 24 日・25 日　穂別博物館展示室 360°映像撮影（文化庁「文化芸術収益力強化事業」）：凸版印刷株式会社（大 3）
(9) 令和 2（2020）年 12 月 27 日　「チコちゃんとい

っしょに課外授業『ダイナソー小林のわくわく研究室』番組取材：有限会社 Spin move（大 4）
(10) 令和 3（2021）年 1 月 7 日　dino net 配信事前準備：凸版印刷株式会社（大 6）
(11) 令和 3（2021）年 1 月 27 日　「SIAF ドキュメント TV　むかわ竜 vs senster」収録：札幌国際芸術祭 SIAF2020 実行委員会（大 3）

Ⅱ－４　博物館実習

【博物館実習（北大枠）】
実習生：村上琳太郎（理学部）
実習期間：令和 2（2020）年 9 月 16 日－21 日
内容：化石くらぶ化石採集（9 月 20 日、21 日）の下見、手伝い。博物館展示の批評。化石写真撮影。化石クリーニング、レプリカ型制作。

鵡川高校 1 年「むかわ学」（20.7.9）

宮戸小学校 3・4 年「地域学習」（20.7.15）

穂別小学校 4 年「化石学習」（20.8.26）

穂別高校 3 年「地学基礎」（20.10.6）

第Ⅲ章　調査研究活動ほか

Ⅲ−１　調査研究活動

【野外調査活動】　のべ 25 日間

令和 2（2020）年

4 月 10 日　西村学芸員・中野ボランティア

4 月 24 日　西村学芸員・中野ボランティア

5 月 1 日　西村学芸員・中野ボランティア

5 月 9 日　西村学芸員・太田晶主事（恐竜ワールド戦略室）

5 月 14 日　西村学芸員

5 月 20 日　西村学芸員・中村学芸補助員・阿部学芸補助員・村上ボランティア

5 月 30 日　西村学芸補助員・中野ボランティア

7 月 9 日　西村学芸員

9 月 1 日　西村学芸員・栗原ボランティア

9 月 8 日　西村学芸員・中村学芸補助員（AM）・吉川学芸補助員・栗原ボランティア・中野ボランティア

9 月 15 日　西村学芸員・栗原ボランティア・中野ボランティア

10 月 7 日 AM　西村学芸員（長和大型アンモナイト確認：北海道胆振総合振興局森林室同行）、

10 月 8 日　西村学芸員

10 月 13 日　西村学芸員（長和大型アンモナイト確認：株式会社池田重工業同行）

10 月 15 日　西村学芸員

10 月 16 日　西村学芸員・吉川学芸補助員・中野ボランティア

10 月 20 日　西村学芸員・吉川学芸補助員・中野ボランティア

10 月 21 日 AM　西村学芸員・中村学芸補助員・吉川学芸補助員・中野ボランティア

12 月 2 日　西村学芸員・吉川学芸補助員・栗原ボランティア・株式会社池田重工業（大型アンモナイト回収）

令和 3（2021）年

3 月 1 日〜3 月 6 日＜宗谷岬周辺＞西村学芸員・吉川学芸補助員

【アンケート資料の収集】

「いのせらたん」アンケートの収集

会期：7 月 1 日〜9 月 30 日

内容：博物館 HP にリンクしたアンケートフォームで収集

【外部研究者の来館】

(1) 令和 2（2020）年 7 月 15 日　小林快次教授（北海道大学総合博物館）：収蔵資料調査

(2) 令和 2（2020）年 9 月 27 日　小松俊文准教授（熊本大学）：共同研究打合せ・遠別産翼竜化石返却

(3) 令和 2（2020）年 9 月 28 日　小林快次教授（北海道大学総合博物館）：収蔵資料調査

(4) 令和 2（2020）年 10 月 10 日〜11 日　佐藤たまき准教授（東京学芸大）：収蔵資料調査

(5) 令和 2（2020）年 10 月 11 日〜13 日　新村達也学芸員（足寄動物化石博物館）：収蔵資料調査

(6) 令和 2（2020）年 10 月 11 日　荻野慎諧（勝山市地域おこし協力隊）：収蔵資料調査

(7) 令和 2（2020）年 10 月 22 日〜23 日　小林快次教授（北海道大学総合博物館）：収蔵資料調査

小林快次教授（20.7.15）

佐藤たまき准教授（20.10.11）

Ⅲ−２　学会・研修会等への参加

【日本古生物学会】

＜2020 年年会＞

会期：令和 2（2020）年 6 月 26 日～28 日
会場：岡山理科大学
備考：新型コロナウイルス感染拡大により中止

＜2021 年第 170 回例会＞

会期：令和 3（2021）年 2 月 5 日～7 日
会場：横浜国立大学（ホスト校）
備考：オンライン開催（西村学芸員参加）

【化石クリーニング等情報交換・技術研修】

北海道内の博物館等との情報交換・技術研修
実施日：令和 2（2020）年 11 月 4 日～5 日
訪問先：中川町エコミュージアムセンター、三笠市立博物館
参加者：阿部学芸補助員、吉川学芸補助員、西村学芸員

Ⅲ−３　研究報告の発行

【研究報告第 36 号】

令和 3（2021）年 3 月 1 日発行
論文・報告 2 編

(1)Ontogeny of *Takahashiceras eureka* (Matsumoto), a Cenomanian lytoceratid ammonoid from Hokkaido, Japan. Yasunari Shigeta, p. 1–6.

(2) イノセラムス科二枚貝のキャラクター；「いのせらたん」の教育・普及活動および評価. 西村智弘, p. 7–32.

第Ⅳ章　資料収集保存活動

Ⅳ－１　登録資料等

【博物館登録資料数】

自然史系登録資料（HMG）＜地質・化石資料＞：2,101 点
自然系登録資料（HMB）＜現生動植物資料＞：167 点
人文系登録資料（HMC）＜民俗・歴史資料＞：3,761 点

計 6,029 点　（2021.3.31. 現在）

【タイプ等】

HMG-12：*Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ（新種）
HMG-387：*Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ（新種）
HMG-5：*Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ（新属新種）
HMG-1065：*Mosasaurus prismaticus* Sakurai et al., 1999 のホロタイプ（新種）
HMG-1056：*Anomalochelys angulata* Hirayama et al., 2001 のホロタイプ（新属新種）
HMG-1573：*Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ（新種）
（パラタイプ：HMG-134、HMG-1592）
HMG- 1587a,b,c,d：*Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ（新種）
HMG-136：*Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ（新種）
（パラタイプ：HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626）
HMG-1528：*Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al., 2016 のホロタイプ（新種）
HMG-1660：*Didymoceras hidakense* Shigeta, 2016 のホロタイプ（新種）
（パラタイプ：HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666）
HMG-1848: *Neophylloceras nodosum* Shigeta, 2019 の ホロタイプ（新種）
HMG-1913: *Menuites armatus* Shigeta, 2019 の ホロタイプ（新種）
HMG-1955: *Parasolenoceras ribiraense* Shigeta, 2019 の ホロタイプ（新種）
(パラタイプ：HMG-1956, 1957)
HMG-1219: *Kamuysaurus japonicus* Kobayashi et al., 2019 のホロタイプ（新属新種）

【むかわ町指定文化財】

登録番号第 4 号　フォスフォロサウルス･ポンペテレガンス *Phosphorosaurus ponpetelegans*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 5 号　モササウルス・ホベツエンシス *Mosasaurus hobetsuensis*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 6 号　メソダーモケリス・ウンデュラータス *Mesodermochelys undulatus*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 7 号　アノマロケリス・アングラータ *Anomalochelys angulata*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 8 号　ティロサウルス（種未定）*Tylosaurus* sp.（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 9 号　モササウルス・プリズマティクス *Mosasaurus prismaticus*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 10 号　ケントリオドン・ホベツ *Kentriodon hobetsu*（平成 29 年 4 月 1 日指定）
登録番号第 11 号　カムイサウルス・ジャポニクス *Kamuysaurus japonicus*（令和 2 年 8 月 27 日指定）

【北海道指定文化財】

登録番号第 34 号：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）（平成 29 年 9 月 29 日指定）

【北海道遺産】

登録番号第 64 号：「むかわ町穂別の古生物化石群」（平成 30 年 11 月 1 日認定）

Ⅳ－２　新規受入資料

【新規受け入れ資料】　40 件

2020-001　アンモナイト・イノセラムス（7）（HMG-1999、HMG-2000、HMG-2001、HMG-2002、HMG-2003、HMG-2005、HMG-2006）／内村耕太郎

2020-002　イノセラムス（1）（HMG-2004）／西村智弘

2020-003　アンモナイト入りノジュール（1）／堀田良幸／むかわ町穂別白船沢

2020-004　イノセラムス・アンモナイト（ノジュール）（1）／栗原健一／むかわ町穂別山本沢

2020-005　二枚貝（1）／栗原健一／むかわ町穂別山本沢

2020-006　骨化石（ノジュール）（1）／栗原健一／むかわ町穂別パンケルサノ沢

2020-007　骨化石（1）／遠藤大騎／浦河町井寒台

2020-008　骨化石（アンモナイト付）（1）／遠藤大騎／浦河町井寒台

2020-009　二枚貝 *Periplomya*（HMG-2008）（1）西村智弘／大夕張ダム

2020-010　モササウルス第 11 標本（HMG-2009）（1）／西村智弘／むかわ町穂別豊新　タキノ沢 2 本南沢

2020-011　モササウルス尾椎（HMG-2010）（1）／西村智弘／むかわ町穂別豊新　タキノ沢 1 本南沢

2020-012　ウミガメ（1）／西村智弘／ソソシ沢（HMG-2011）

2020-013　ウミガメ 13-HD-9-2-5（HMG-2012）（1）／西村智弘／2013 年恐竜発掘時

2020-014　アンモナイトなど（105）（中・大型アンモナイト 88 点）／川中纐一

2020-015　アンモナイト・イノセラムス（6）／大和治生

2020-016　アンモナイト（3）／大和治生／むかわ町穂別産・平取産

2020-017　アンモナイトなど（74）／中下信男／浜中町奔幌戸産

2020-018　首長竜骨化石（2）／伊豆倉正隆／穂別笹尾沢

2020-019　首長竜骨化石（1）／伊豆倉正隆／穂別マッカウシマップ沢

2020-020　大型アンモナイト　パキデスモセラス *Pachydesmoceras*（1）／堀田良幸／大夕張産

2020-021　大型アンモナイト　パキデスモセラス *Pachydesmoceras*（1）／堀田良幸／むかわ町穂別産

2020-022　アンモナイト（1）／大和治生／占冠村産（2020-015 産地）

2020-023　甲殻類化石（1）／村上琳太郎／穂別ソソシ沢

2020-024　ヘルメット（カムイサウルス発掘時使用）（1）／小林快次

2020-025　足袋・調査カバン・一眼レフカメラ（カムイサウルス発掘時使用）（3）／西村智弘

2020-027　ノートパソコン（1）、ミストファン（1）、テンバコ 18（100）、テンバコ 27（40）／博物館協力会

2020-028　化石入りノジュール（18）、イノセラムス（1）、二枚貝化石（1）、石炭（1）／阿部利春

2020-029　大型アンモナイト（1）／武田隆治・栗原健一

2020-030　アンモナイト（3）アンモナイトレプリカ（1）／佐藤亮一

2020-031　アンモナイト（1）／林敬晴

2020-032　アンモナイト（1）／林敬晴

2020-033　文献資料（153）／近江康一

2020-034　骨化石（1）／中野益年

2020-035　アンモナイト・イノセラムス（3）／阿部利春

2020-036　骨化石（1）／松田敏昭

2020-037　大型アンモナイト（1）／松田敏昭

2020-038　アンモナイト（1）／松田敏昭

2020-039　新生代二枚貝（1）／栗原健一

2020-040　アンモナイト　パキディスクス（1）／栗原健一・武田隆治

2020-041　二枚貝アピオトリゴニア入り岩石（1）／栗原健一・武田隆治

Ⅳ－３　新規登録資料

【新規登録資料】97 件

HMG-1999 : アンモナイト *Gaudryceras tenuiliratum*／2020-001／内村耕太郎

HMG-2000 : イノセラムス *Inoceramus ezoensis*／2020-001／内村耕太郎

HMG-2001 : アンモナイト *Eupachydiscus* sp.／2020-001／内村耕太郎

HMG-2002 : アンモナイト *Gaudryceras* sp.／2020-001／内村耕太郎

HMG-2003 : アンモナイト Diplomoceratidae gen. et sp. indet.／2020-001／内村耕太郎

HMG-2004 : イノセラムス *Inoceramus japonicus*／2020-002／西村智弘

HMG-2005 : イノセラムス *Inoceramus amakusensis*／2020-001／内村耕太郎

HMG-2006 : イノセラムス *Inoceramus japonicus*／2020-001／内村耕太郎

HMG-2007 : アンモナイト *Takahashiceras eureka*／2018-018／林敬晴

HMG-2008 : 二枚貝 *Periplomya*／2020-009／西村智弘

HMG-2009 : モササウルス類（モササウルス第 11 標本）／2020-010／西村智弘

HMG-2010 : モササウルス類（尾椎骨、第 12 標本）

／2020-011／西村智弘
HMG-2011：ウミガメ／2020-012／西村智弘
HMG-2012：ウミガメ／2020-013／2013 年恐竜発掘
HMG-2013：サメ化石／2014-004／森木和則
HMG-2018～2100:アンモナイト／2020-014／川中纐一

Ⅳ－４　収蔵資料の活用（研究）

【貸出（研究）】9 件

(1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055（ウミガメ化石）5 点／平山廉（早稲田大学）／平成 6(1994) 年 8 月 17 日～
(2) HMG-1063、HMG-1064（ウミガメ化石）2 点／平山廉（早稲田大学）／平成 7（1995）年 5 月 11 日～
(3) HMG-1443、HMG-1444（カサガイ付きアンモナイト）2 点／加瀬友喜（国立科学博物館）／平成 21(2009) 年 7 月 9 日～
(4) HMG-0399（アンモナイト）1 点／前田晴良（九州大学総合研究博物館）／平成 23（2011）年 10 月 17 日～
(5) HMG-0357（長頸竜化石）1 点／佐藤たまき（東京学芸大学）／平成 23（2011）年 11 月 25 日～
(6) アンモナイト（2016-002、2016-003、2016-005、2016-007、2016-008）　計 5 点／前田晴良（九州大学総合研究博物館）／平成 29（2017）年 11 月 1 日～
(7) HMG-0041（アンモナイト *Baculites rex*）1 点／重田康成（国立科学博物館）／平成 30（2018）年 7 月 10 日～令和 2(2020) 年 7 月 10 日
(8) HMG-1052　遠別産翼竜頸骨／對比地孝亘（国立科学博物館）／令和 2（2020）年 6 月 8 日～9 月 4 日
(9) HMG-1067 クビナガリュウポリコティルス類椎骨 8 点、仙肋 5 点／佐藤たまき（東京学芸大学）／令和 2（2020）年 12 月 1 日～令和 3 年（2021）年 11 月 30 日

Ⅳ－５　収蔵資料の活用（研究以外）

【貸出（展示）】7 件

(1) アンモナイト（HMG-626）1 点／北海道議会議員神戸典臣事務所（北海道白老町）／平成 30（2018）年 10 月 31 日～
(2) アンモナイト（2016-052-02、2019-009-01、2019-009-02：3 点)、ノジュール（HMG-1677）／むかわ町四季の館「ミニ博物館コーナー」で展示／むかわ地域商社 M Dino／令和 2（2020）年 9 月 13 日～令和 3（2021）年 9 月 12 日
(3) むかわ竜頭骨レプリカ 1 点、むかわ竜大腿骨レプリカ 1 点、むかわ竜 PR パネル 7 点／「ひだか・いぶりウェルカムイベント」（白老駅北観光インフォメーションセンター「ポロトミンタラ」）にて使用／北海道胆振総合振興局／令和 2（2020）年 10 月 10 日
(4) むかわ竜紹介パネル 8 枚／丹波竜フェスタ 2020（丹波市山南町ちーたんの館）にて展示／むかわ町役場恐竜ワールド戦略室／令和 2（2020）年 12 月 6 日
(5) カムイサウルス（むかわ竜）全身骨化石一式、カムイサウルス（むかわ竜）全身復元骨格レプリカ 1 点、ホベツアラキリュウ全身復元骨格レプリカ　1 点、ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格レプリカ　1 点／北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」／北海道博物館／令和 3（2021）年 1 月 11 日～令和 3（2021）年 3 月 31 日
(6) エドモントサウルス頭骨レプリカ／館内ロビーにて展示／足寄動物化石博物館／令和 3（2021）年 1 月 11 日～令和 3（2021）年 3 月 31 日
(7) 特別展「カムイサウルス発掘展」（2020）パネルデータ　12 点／北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」にて展示／北海道博物館／令和 3（2021）年 2 月 12 日製作

【貸出（普及教育）】5 件

(1) ハンマー（化石採集用）17 本、ピック 17 本、保護ゴーグル 17 個／北海道大学大学院観光地域ビジネス論演習フィールドワークの一環として実施する化石採集体験にて使用／むかわ町役場恐竜ワールド戦略室／令和 2（2020）年 10 月 16 日～18 日
(2) ハンマー（化石採集用）3 本、ツルハシ 1 本、ピック 3 本、保護ゴーグル 3 個／化石発掘体験にて使用／むかわ町役場恐竜ワールド戦略室／令和 2（2020）年 10 月 31 日
(3) ハンマー10 本、ピック 10 本、ゴーグル 10 点、ヘルメット（大人用 5 個・子ども用 5 個）／むかわ町クラウドファンディング事業の返礼品として実施する化石発掘体験で使用／むかわ町役場恐竜ワールド戦略室／令和 2（2020）年 7 月 23 日～7 月 26 日
(4) ハンマー8 本、ピック 8 本、ゴーグル 8 点、ヘルメット（大人用 5 個・子ども用 3 個）／むかわ町クラウドファンディング事業の返礼品として実施する化石発掘体験で使用／むかわ町役場恐竜ワールド戦略室／令和 2（2020）年 8 月 1 日
(5) レプリカ型（アンモナイト）10 点、化石クリーニング体験一式 10 組、むかわ竜タペストリー3 枚／令和 2 年度北海道鵡川高等学校オープンキャンパスで使用／北海道鵡川高等学校／令和 2（2020）年 8 月 30 日～9 月 6 日

【写真等提供（展示・出版・報道等）】36 件

(1) カムイサウルス・ジャポニクス全身復元骨格レ

プリカ写真 1 点、ホベツアラキリュウ全身復元骨格レプリカ写真 1 点、モササウルス類生体復元模型写真 1 点、穂別博物館外観写真 1 点（計 4 点）／ホームページにて使用／「化石の里ほべつを応援する会」／令和 2（2020）年 4 月 7 日許可

(2) カムイサウルス・ジャポニクス全身復元骨格レプリカ写真(1 点)／絵本「きょうりゅうのサン　きょうぼくはなまえをもらった」の帯に使用／株式会社アリス館／令和 2（2020）年 4 月 16 日許可

(3) カムイサウルス発掘状況写真 4 点、カムイサウルス実物化石配置写真 2 点、カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1 点（計 7 点）／「NHK 子ども科学電話相談　恐竜スペシャル！」にて使用／株式会社 NHK 出版／令和 2（2020）年 4 月 17 日許可

(4) カムイサウルス・ジャポニクス全身実物化石写真（1 点）／「理科教育ニュース」2020 年 7 月 8 月号でカムイサウルスを紹介するために使用／株式会社少年写真新聞社／令和 2（2020）年 5 月 21 日許可

(5) ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格レプリカ写真（1 点）／書籍「恐竜学」における「ティラノサウルスの研究」にて使用／株式会社学研プラス／令和 2（2020）年 5 月 22 日許可

(6) カムイサウルス・ジャポニクス全身実物化石写真 1 点、カムイサウルス・ジャポニクス全身復元骨格レプリカ写真 1 点（計 2 点）／北海道新聞朝刊「サタデー道新」における小林快次（北海道大学総合博物館教授）の取材記事にて使用／北海道新聞社／令和 2（2020）年 5 月 23 日許可

(7) むかわ竜第一次発掘（2013 年）写真（3 点）／むかわ町 PR（兼通販）サイトにて使用／むかわ地域商社 M Dino／令和 2（2020）年 5 月 30 日許可

(8) カムイサウルス全身骨格化石写真（1 点）／小学館学習雑誌「小学 8 年生」8・9 月号にて使用／株式会社小学館／令和 2（2020）年 6 月 18 日許可

(9) 穂別博物館外観写真、穂別博物館展示写真（計 6 点）／コープさっぽろトドック月刊カタログ「暮らし便利プレス」8 月号にて使用／コープさっぽろ／令和 2（2020）年 6 月 20 日許可

(10) むかわ竜全身骨格写真、むかわ竜全身骨格レプリカ写真、発掘調査写真、発掘化石写真（計 4 点）／山口県立山口博物館令和 2 年度特別展「生物の進化と恐竜ワールド」での展示／「生物の進化と恐竜ワールド」実行委員会／令和 2（2020）年 6 月 23 日許可

(11) むかわ竜全身実物化石写真、むかわ竜全身復元レプリカ写真、博物館展示資料写真 4 点（計 6 点）／令和 2 年度白老駅北観光商業ゾーン「民間活力導入区域」賑わい創出事業／北海道新聞社／令和 2（2020）年 7 月 4 日許可

(12) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／「ドラえもんふしぎのサイエンス　恐竜のサイエンス」の台湾版・デジタル版の作製／株式会社小学館／令和 2（2020）年 7 月 9 日許可

(13) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／汐文社「なぞにせまれ！　世界の恐竜 3」に掲載／ニシ工芸株式会社／令和 2（2020）年 7 月 10 日許可

(14) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／「小学 8 年生」10・11 月号巻頭ポスター「日本！　恐竜化石 MAP」にて使用／株式会社小学館／令和 2（2020）年 7 月 21 日許可

(15) むかわ竜全身実物化石写真、第一次発掘写真（計 2 点）／昭文社「北海道のトリセツ」に掲載／株式会社アッシュ／令和 2（2020）年 7 月 27 日許可

(16) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／鵡川地区防災訓練（防災さんぽ）の通過確認証として使用／むかわ町役場総務企画課危機対策 G／令和 2（2020）年 8 月 13 日許可

(17) 古写真（HMC-1436、HMC-2227、HMC-2232、HMC-2238、HMC-2240、HMC-2241、HMC-2322、HMC-2570、HMC-2571、HMC-2581、HMC-3110、HMC-3112、HMC-3141、HMC-3729：計 14 点）／「写真アルバム　胆振・日高の昭和」に掲載／株式会社いき出版／令和 2（2020）年 8 月 25 日許可

(18) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／むかわ町交通安全旗に使用／むかわ町役場町民生活課生活環境 G／令和 2（2020）年 9 月 3 日許可

(19) 穂別博物館展示写真（1 点）／JTB「るるぶ　地図でよくわかる 47 都道府県の歴史大百科」に使用／株式会社アーク・コミュニケーションズ／令和 2（2020）年 9 月 9 日許可

(20) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／「恐竜大図鑑」に掲載／株式会社ニュートンプレス／令和 2（2020）年 9 月 13 日許可

(21) むかわ竜全身実物化石写真（1 点）／文研出版「ビジュアル解説！　はかる図鑑」に掲載／株式会社春燈社／令和 2（2020）年 10 月 3 日許可

(22) むかわ竜発掘調査写真（9 点）／穂別小学校学芸会 4 年生演劇「発見紀　カムイサウルス・ジャポニクス」にて使用／むかわ町立穂別小学校／令和 2（2020）年 10 月 5 日許可

(23) ホベツアラキリュウ全身復元レプリカ写真 1 点、むかわ竜全身実物化石写真 1 点、むかわ竜発掘調査作業状況写真 4 点（計 6 点）／北海道総合政策部地域創生局「北海道恐竜・化石魅力発信事業」動画に使用／株式会社インサイト／令和 2（2020）年 10 月 10 日許可

(24) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真　2 点／第 29 回釧路市生涯学習フェスティバルに出展するため／公益社団法人発明協会　釧路少年少女発明クラブ／令和 2（2020）年 10 月 15 日許可

(25) むかわ竜全身化石写真 1 点、むかわ竜記者会見写真 1 点、ほべつたんイラスト 1 点（計 3 点）／書籍「眠れなくなるほど面白い　図解古生物」にて使用／日本文芸社／令和 2（2020）年 10 月 24 日許可

(26) むかわ竜全身復元模型写真　1 点／「地図歴史ドリル」に掲載のため／株式会社主婦の友社／令

和 2（2020）年 10 月 27 日許可
(27) むかわ竜全身復元骨格レプリカ写真　1 点／穂別ダム　ダムカードの「むかわ町メモ」にて使用／むかわ町役場穂別総合支所　地域経済課産業グループ／令和 2（2020）年 12 月 11 日許可
(28) むかわ竜発掘現場写真　計 1 点／北海道いぶり五大遺産バス広告資材に掲載／北海道胆振総合振興局／令和 2 年 12 月 12 日許可
(29) むかわ竜実物化石写真、ホベツアラキリュウ発見者　荒木新太郎氏写真、ホベツアラキリュウ発掘時写真　2 点　計 4 点／文化庁　博物館異分野連携モデル構築事業「チコちゃんといっしょに課外授業」『ダイナソー小林×クイズノック！　わくわく研究室＠北大総合博物館』にて使用／令和 3（2021）年 1 月 14 日許可
(30) むかわ竜実物化石写真　1 点／マルチリンガル教材、Libry（インターネット配信）にて使用／株式会社新興出版社啓林館／令和 3（2021）年 1 月 20 日許可
(31) むかわ竜実物化石写真　1 点、むかわ竜全身復元骨格レプリカ　1 点／T シャツ、ポロシャツの作成／株式会社シオニー／令和 3（2021）年 1 月 31 日許可
(32) むかわ竜発掘調査写真ほか　15 点／KADOKAWA の図鑑「恐竜」に掲載／株式会社　童夢／令和 3（2021）年 2 月 26 日許可
(33) むかわ竜全身実物化石動画、むかわ竜全身復元レプリカ動画、ティラノサウルス「スコッティ」復元レプリカ動画　計 3 点／道民カレッジ主催事業　令和 3 年度「ほっかいどう学」大学インターネット講座（講師　北海道大学総合博物館　小林快次教授）にて使用／公益財団法人　北海道生涯学習協会／令和 3（2021）年 3 月 9 日許可
(34) むかわ竜全身実物化石写真　1 点／NHK 札幌「マイナークラブ☆フェスティバル」にて使用／北海道鵡川高等学校恐竜同好会／令和 3（2021）年 3 月 12 日許可
(35) むかわ竜全身実物化石写真、むかわ竜発掘現場写真、むかわ竜上顎骨化石写真　計 3 点／「ワンダーしぜんランド　ベストセレクション」に掲載／株式会社世界文化ワンダークリエイト／令和 3（2021）年 3 月 18 日許可
(36) むかわ竜全身復元骨格レプリカ写真、むかわ竜発掘調査写真　計 2 点／株式会社新学社「PIKARI（ぴかり）8 月号」（家庭学習教材「ポピー」付録冊子）に掲載／有限会社　大悠社／令和 3（2021）年 3 月 31 日許可

Ⅳ－６　収蔵資料管理

【文化財パトロール】
実施日：令和 2（2020）年 8 月 13 日
実施場所：むかわ町穂別博物館収蔵庫
内容：北海道天然記念物ホベツアラキリュウ化石骨の保存状況確認（大 4）

第Ⅴ章　広報活動

Ⅴ−１　博物館広報活動

【ホッピーだより（博物館広報誌）】

A4 版両面印刷。博物館からのお知らせや行事予定等を掲載。博物館ホームページで公開（http://www.town.mukawa.lg.jp/2407.htm）、町内の公共施設や学校等へ配布。

425 号〈令和 2 年 4 月〉「恐竜・モササウルス類の展示変更/中村記念館開館／恐竜デーGW 中止のお知らせ」

426 号〈令和 2 年 5 月〉「2019 年度の寄贈資料紹介／コラム カムイサウルスのこれまで③」

427 号〈令和元年 6 月〉「特別展　カムイサウルス発掘展　告知／カムイサウルス二歩≒2m（ソーシャルディスタンシング表示）」

428 号〈令和 2 年 7 月〉カムイサウルス発掘展の紹介／いのせらたんアンケートお知らせ／恐竜デー中止のおしらせ

429 号〈令和 2 年 8 月〉館内の映像がインターネットでも視聴できるようになりました／ツイッター、フェイスブックで公式アカウントの運用を始めました／カムイサウルスが国際生物学オリンピックの金メダルに　ミストファンを設置

430 号〈令和元年 9 月〉最近クリーニングされたモササウルス類

431 号〈令和 2 年 10 月〉カムイサウルス むかわ町天然記念物指定／最近クリーニングされたウミガメ化石

432 号〈令和 2 年 11 月〉カムイサウルス全身復元骨格 2 体目完成／カムイサウルスをモデルにした絵本第 2 弾出版

433 号〈令和 2 年 12 月〉最近クリーニングされたアンモナイト／博物館ボランティアの YouTube チャンネル

434 号〈令和 3 年 1 月〉2020 年度ハドロキッズチーム（むかわ町子ども化石くらぶ）活動報告　2020 年の調査研究などでの来館者／カムイサウルス全身復元骨格（実物大）の販売・レンタル

435 号〈令和 3 年 2 月〉小型の獣脚亜目の化石発見／北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」でカムイサウルス（むかわ竜）全身骨格（実物）などを展示／むかわ町子ども化石くらぶ募集／ディノ・ネットデジタル恐竜展示室公開

436 号〈令和 3 年 3 月〉研究報告第 36 号の内容紹介 白亜紀アンモナイト　タカハシセラスの成長変化 タカハシセラス第 4 標本の発見／2020 年度むかわ町子ども化石くらぶポスター発表展開催／2020 年の教育普及活動（外部協力）

【その他広報】

＜博物館ホームページ＞

博物館からのお知らせ、ホッピーだよりなどについて随時更新した。

アドレス

http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm

＜SNS＞

令和 2（2020）年 7 月 20 日　フェイスブック（Facebook）、ツイッター（twitter）　公式アカウントの開設・公開

Ⅴ−２　報道関係

【カムイサウルス（むかわ竜）】

＜テレビ＞

(1) 令和 2（2020）年 11 月 15 日 9 時 00 分－9 時 25 分／BS 日テレ／「北海道すたいる」むかわ編

＜インターネット配信＞

(1) 令和 3（2021）年 1 月 23 日 14:00－／チコちゃんといっしょに課外授業「ダイナソー小林×クイズノック！　わくわく研究室＠北大総合博物館」第 1 部（穂別博物館の紹介）

(2) 令和 3（2021）年 2 月 6 日 17:00－／ディノ・ネット dino net デジタル恐竜展示室　第 1 回「カムイサウルス発掘同窓会」（出演：櫻井館長、西村学芸員）

(3) 令和 3（2021）年 2 月 14 日 17:00－／札幌国際芸術祭 SIAF2020（siaf.jp）／SIAF TV ドキュメント「Senster vs むかわ竜」（出演：櫻井館長）

＜出版物等＞

(1) 令和 2（2020）年 5 月／株式会社ベネッセコーポレーション／進研ゼミ小学講座「かがく組 4 年生」

(2) 令和 2（2020）年 6 月 12 日／北海道大学総合博物館／北海道大学総合博物館ニュース Museum News「むかわ竜を新属新種の恐竜として『カムイサウルス・ジャポニクス』と命名」「むかわ町穂別産カムイサウルス全身復元骨格が完成！」

(3) 令和 2（2020）年 6 月 20 日／NHK「子ども科学電話相談」製作班／「NHK 子ども科学電話相談　恐竜スペシャル！」

(4) 令和 2（2020）年 6 月 27 日／小学館／「小学 8 年生　8・9 月号」（小学館スペシャル 8 月号）

(5) 令和 2（2020）年 7 月 8 日／株式会社少年写真新聞社／「理科教育ニュース　第 1111 号付録」／「カムイサウルスの発見」

(6) 令和 2(2020)年 7 月 27 日／株式会社 KADOKAWA／「恐竜　骨ぬりえ」

(7) 令和 2（2020）年 7 月 28 日／株式会社学研プラス／「恐竜学」

(8) 令和 2（2020）年 8 月／JR 東日本／「トランヴェ

ール」2020 8 月号
(9) 令和 2（2020）年 8 月 28 日／小学館／「小学 8 年生」10 月号／『恐竜化石　発見 MAP』
(10) 令和 2（2020）年 9 月／株式会社汐文社／「なぞにせまれ！世界の恐竜③日本・ヨーロッパ～カムイサウルス、イグアノドンほか～」
(11) 令和 2（2020）年 9 月 20 日／アリス館／「きょうりゅうのサン　きょうぼくはなまえをもらった」
(12) 令和 2（2020）年 11 月 15 日／昭文社／「北海道のトリセツ」
(13) 令和 2（2020）年 12 月 1 日／JTB パブリッシング／「地図でよくわかる　47 都道府県の歴史大百科」
(14) 令和 2（2020）年 12 月 20 日／株式会社日本文芸社／「眠れなくなるほど面白い　図解　古生物」
(15) 令和 2（2020）年 12 月 31 日／株式会社主婦の友社／「地図歴史脳ドリル」
(16) 令和 3（2021）年 1 月 10 日／教育出版株式会社／「自然の探求　中学理科 1」
(17) 令和 3（2021）年 2 月 15 日／株式会社ニュートンプレス／Newton 大図鑑シリーズ「恐竜大図鑑」
(18) 令和 3（2021）年 2 月 28 日／北海道大学総合博物館／北海道大学総合博物館ニュース第 41 号／「北極圏の植物食性恐竜、エドモントサウルスの全貌が明らかに～日本に恐竜が渡るまで～」（小林快次）
(19) 令和 3（2021）年 3 月 28 日／札幌国際芸術祭実行委員会・札幌市／札幌国際芸術祭記録集「SIAF2020 インデックス」

＜新聞記事＞

(1) 令和 2（2020）年 4 月 9 日／北海道新聞／朝／15 面（地域の話題）／「むかわ竜　2 体目は立ち姿」
(2) 令和 2（2020）年 4 月 9 日／苫小牧民報／2 面／「むかわ竜　新たなレプリカ完成」
(3) 令和 2（2020）年 5 月 18 日／徳島新聞／朝／17 面（特集）／「わたしの居場所⑦ 恐竜化石」
(4) 令和 2（2020）年 6 月 13 日／北海道新聞／朝／19−20 面（サタデーどうしん）／「北海道から描く恐竜世界」
(5) 令和 2（2020）年 7 月 3 日／北海道新聞／朝／15 面（地域の話題）／「むかわ竜　発掘過程を紹介」
(6) 令和 2（2020）年 7 月 7 日／苫小牧民報／2 面／「むかわ竜発掘のすべて　ここに」
(7) 令和 2（2020）年 7 月 31 日／苫小牧民報／2 面「国際生物学五輪の金メダルデザインに　むかわ竜世界に発信」
(8) 令和 2（2020）年 7 月 31 日／北海道新聞／朝／24 面（第 4 社会）／「むかわ竜　金メダルに　来月の国際生物学五輪」
(9) 令和 2（2020）年 9 月 7 日／北海道新聞／夕／1 面「今日の話題」／「恐竜の出番」
(10) 令和 2（2020）年 9 月 14 日／苫小牧民報／15 面（第 1 社会面）／「苫市立中央図書館　むかわ竜で講演会」
(11) 令和 2（2020）年 9 月 21 日／苫小牧民報／2 面／「寄付で製作のレプリカ『むかわ竜』に色付け」
(12) 令和 2（2020）年 9 月 22 日／北海道新聞／朝／11 面（地域の話題）／「むかわ竜複製重厚感着々と　ネット寄付支援者が色付け」
(13) 令和 2（2020）年 9 月 26 日／苫小牧民報／2 面／「迫力満点『むかわ竜』　新複製一般公開始まる」
(14) 令和 2（2020）年 9 月 28 日／北海道新聞／朝／13 面（地域の話題）／「むかわ竜全身骨格迫力満点　複製 2 体目を一般公開」
(15) 令和 2（2020）年 10 月 12 日／苫小牧民報／2 面／「4 年生　恐竜テーマに演劇披露」（穂別小学校）
(16) 令和 2（2020）年 10 月 17 日／苫小牧民報／2 面／「むかわ竜モデル新作絵本発売『きょうりゅうのサン』名前の物語」
(17) 令和 2（2020）年 10 月 17 日／北海道新聞／朝／15 面（地域の話題）／「『むかわ竜』商標使用料徴収へ」
(18) 令和 2（2020）年 10 月 19 日／北海道新聞／朝／15 面（地域の話題）／「むかわ竜　観光に生かすには」
(19) 令和 2（2020）年 11 月 7 日／苫小牧民報／2 面／「『むかわ竜』２体共演へ　道の駅で複製一般公開」
(20) 令和 2（2020）年 11 月 10 日／北海道新聞／17 面（地域の話題）／「迫力満点　むかわ竜レプリカ２体」
(21) 令和 2（2020）年 11 月 12 日／苫小牧民報／2 面／「『むかわ竜』複製２体一般公開延期に　コロナ感染拡大で」
(22) 令和 2（2020）年 11 月 12 日／北海道新聞／17 面（地域の話題）／「むかわ竜複製　展示会延期に」
(23) 令和 2（2020）年 11 月 13 日／苫小牧民報／2 面-02／「地域を見守る『むかわ竜』　オリジナルの交通安全旗制作」
(24) 令和 2（2020）年 12 月 1 日／苫小牧民報／2 面／「LINE スタンプに『むかわ竜』登場」
(25) 令和 2（2020）年 12 月 8 日／北海道新聞／14 面（地域の話題）／「むかわ竜 LINE スタンプに」
(26) 令和 2（2020）年 12 月 19 日／北海道新聞／30 面（第 4 社会）／「むかわ竜　売ります！　貸します！」
(27) 令和 2（2020）年 12 月 19 日／苫小牧民報／2 面／「『むかわ竜』レプリカいかが？　製造販売受け付け開始」
(28) 令和 2（2020）年 12 月 25 日／苫小牧民報／2 面／「道、恐竜化石発掘　5 市町動画で PR」
(29) 令和 3（2021）年 1 月 5 日／朝日小学生新聞（朝日学生新聞社）／3 面／「第 14 回　カムイサウルス」
(30) 令和 3（2021）年 3 月 21 日／北海道新聞／15 面（地域の話題）／「むかわ竜複製 2 体公開」
(31) 令和 3（2021）年 3 月 22 日／苫小牧民報／2 面／「むかわ竜 2 体発共演／「恐竜ブーム　むかわから」

【新規獣脚類標本】

＜テレビ＞

(1) 令和3（2021）年1月6日 18:10－／NHK総合／「ほっとニュース北海道」

(2) 令和3（2021）年1月6日 20:45－／NHK総合／「ほっとニュース845」

(3) 令和3（2021）年1月7日 5:00－／STV／「どさんこワイド朝」

＜新聞＞

(1) 令和3（2021）年1月7日／北海道新聞／朝／27面（第3社会）／「むかわで再び恐竜化石　道内6例目新種の可能性」

(2) 令和3（2021）年1月7日／朝日新聞／朝／22面（道内）／「新たな恐竜？の化石　『むかわ竜発見に匹敵する驚き』」

(3) 令和3（2021）年1月7日／朝日新聞／朝／23面（社会）／「鳥に近い新種の恐竜？化石確認　むかわ」

(4) 令和3（2021）年1月7日／苫小牧民報／11面（第1社会面）／「穂別で2例目の恐竜化石」

【ホベツアラキリュウ】

＜出版物等＞

(1) 令和2（2020）年7月27日／株式会社KADOKAWA／「恐竜　骨ぬりえ」

【イノセラムス、いのせらたん】

＜出版物等＞

(1) 令和2（2020）年12月20日／株式会社日本文芸社／「眠れなくなるほど面白い　図解　古生物」

(2) 令和2（2020）年7月9日／苫小牧民報／2面／「いのせらたん　アンケート実施中」

(3) 令和2（2020）年7月22日／北海道新聞／朝／16面（地域の話題）／「いのせらたん　PR効果検証」

【むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）】

＜新聞＞

(1) 令和2（2020）年8月14日／苫小牧民報／2面／「23日から始動へ　化石くらぶ12月まで4回開催」

(2) 令和2（2020）年8月20日／苫小牧民報／2面／「三重県博物館の大野館長講演　23日、化石くらぶ開講で」

(3) 令和2（2020）年8月24日／苫小牧民報／2面／「ハドロキッズチーム始動　絶滅動物の生態学ぶ」

(4) 令和3（2021）年2月2日／苫小牧民報／2面／「21年度『子ども化石くらぶ』受講小学生を募集」

(5) 令和3（2021）年2月6日／北海道新聞／朝／16面（地域の話題）／「むかわ町の講座　新年度会員募集」

(6) 令和3（2021）年2月19日／苫小牧民報／2面／「化石くらぶ　穂別博物館でポスター展」

【博物館紹介】

＜出版物等＞

(1) 令和2（2020）年8月／JTBパブリッシング／「るるぶ特別編集　厚真川・安平川」

(2) 令和2（2020）年8月／コープさっぽろ／「暮らし便利プレス」2020.8 vol.233

(3) 令和3（2021）年3月25日／朝日新聞出版／＆TRAVEL 北海道 2022［ハンディ版］

(4) 令和3（2021）年3月27日／株式会社共同文化社（吉田類　責任編集）／旅人類07

＜新聞＞

(1) 令和3（2021）年2月6日／北海道新聞／朝／16面（地域の話題）／ひと「恐竜の化石　岩塊から削り出す」

＜その他広報＞

(1) 令和3（2021）年3月1日－31日　北海道胆振総合振興局／「北海道いぶり五大遺産ポスター展」（胆振管内路線バス車内および外観）

【北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」】

＜新聞記事＞

(1) 令和3（2021）年2月3日／苫小牧民報／2面／「12日から　北海道博物館で企画展」

(2) 令和3（2021）年2月6日／北海道新聞／朝／32面（第4社会）／「道内の恐竜一堂に　道博物館で企画展」

(3) 令和3（2021）年2月11日／苫小牧民報／3面（道内ニュース）／「むかわ竜など一堂に　あすから『北海道の恐竜』展」

(4) 令和3（2021）年2月11日／北海道新聞／朝／26面（第4社会）／「道内恐竜一堂に　あす開幕」

(5) 令和3（2021）年2月19日／北海道新聞／夕／4・5面（Culture）／「道博物館で企画展　白亜紀の恐竜世界に迫る」

【にっぽん恐竜協議会】

＜新聞＞

(1) 令和2（2020）年11月13日／苫小牧民報／2面／「にっぽん恐竜協議会　ポスターとリーフレット作成」

【むかわ地域商社 M Dino】

＜新聞＞

(1) 令和2（2020）年10月8日／苫小牧民報／2面／「恐竜の町をアピール　四季の館にミニ博物館開設」

【その他】

＜出版物＞

(1) 令和2（2020）年11月28月／株式会社いき出版／「写真アルバム　胆振・日高の昭和」（収蔵資料古写真の提供）

＜新聞＞

(2) 令和3（2021）年2月16日／北海道博物館／朝／14面（地域の話題）／「恐竜化石で地域振興

むかわ町がまちづくり計画案」

Ⅴ－３　寄稿等

(1) 令和 2（2020）年 8 月 25 日／日本博物館協会／「博物館研究」第 55 巻第 9 号／「コレクション　カムイサウルス・ジャポニクスの化石」（西村智弘学芸員）

(2) 令和 2（2020）年 11 月／文化情報 Vol. 381／第 1 回文化財講演会「むかわ町の天然記念物」（櫻井和彦館長）

第Ⅵ章　管理・運営

Ⅵ－１　組　　織

【博物館職員】＜令和 2（2020）年度＞
＜館長＞
館長　櫻井 和彦
＜管理担当＞
主事　干場 芽衣
窓口担当（会計年度任用職員）　早瀬 千佳
窓口担当（会計年度任用職員）　谷口 信江
＜学芸担当＞
学芸員　西村 智弘
学芸補助員（会計年度任用職員）　中村 正彦
学芸補助員（会計年度任用職員）　阿部 恭子
学芸補助員（会計年度任用職員）　吉川 幸叙（8 月 23 日～）

【穂別博物館協議会】
＜任期＞
令和 2（2020）年 8 月 1 日～
令和 4（2022）年 7 月 31 日（2 年間）
＜協議会委員＞
会長　　山田 正（学識経験者）
副会長　岡田 信一（学識経験者）
委員　　水尾 悠起子（学校教育経験者）
栗原 健一（社会教育経験者）
阿部 斎木（社会教育経験者）
宮田 千春（家庭教育の向上）
小山内 恵子（学識経験者）
後藤 道治（学識経験者）
＜協議会＞
令和 2 年度第 1 回
会場　穂別町民センターコミュニティ A
出席　委員 8 名
令和 2 年度第 2 回
会場　穂別町民センター第 1・第 2 会議室
出席　委員 7 名

【穂別博物館ボランティア組織】
以下の 9 名が登録されている。
村上 隆（むかわ町）
栗原 健一（むかわ町）
伊豆倉 正隆（札幌市）
杉浦 寛大（札幌市）
星野 美樹（苫小牧市）
宮田 洋介（むかわ町）
長野 あかね（札幌市）
中野 益年（千歳市）
島田 一希（札幌市）

Ⅵ－２　博物館周辺エリア再整備計画

令和 2（2020）年度は進展なし。

Ⅵ－３　新型コロナウイルス対策

世界中および日本国内で感染が拡大している新型コロナウイルス（COVID-19）による感染症のさらなる感染拡大防止のため、穂別博物館は下記の対応を行った。
穂別博物館は社会教育施設であると同時に、来館者において町外者（特に札幌圏）が大部分を占める集客施設の側面もある。北海道に緊急事態宣言が発令され、札幌市が重点措置地域に指定されている中で、町外からのウイルスの入口となることのないよう、むかわ町の対応として、以下の対策を行った。

【感染予防対策】（令和元年度より継続実施）
・館内の消毒の実施（アルコール）
・入口、トイレ前に手指消毒剤の設置
・正面玄関に自動体温測定器の設置
・手の触れることのできるハンズオン展示の一時的撤収、もしくは休止
・手を触れることのできるアンモナイト等の展示：「触っていいよ」を一時的に撤収
・「探検シート」「パズル」「パズルリレー」の撤収
・閲覧用図書の一時撤収
・掲示による注意喚起
・受付窓口に遮蔽用アクリル板を設置
・受付窓口職員のマスク着用

【臨時休館】
(1) 臨時休館の決定（令和元年 4 月 18 日～5 月 6 日）
（令和元年 4 月 14 日決定）
4 月 12 日に北海道と札幌市に緊急事態宣言が発令され、期間が 5 月 6 日までとされたことを受け、むかわ町コロナウイルス対策本部会議にて、穂別博物館の臨時休館を 4 月 18 日～5 月 6 日（5 月 7 日・8 日は条例による休館日のため、再開予定は 5 月 9 日）とすることが決定された。
(2) 休館期間の延長（～令和元年 5 月 11 日）
（令和元年 5 月 1 日決定）
日本国政府が全国に対する緊急事態宣言を 5 月末まで延長の意向を受け、また、道教委からの通達

により道内学校の臨時休校を5月10日まで延長することを受けて、5月1日に開催されたむかわ町コロナウイルス対策会議にて、穂別博物館の臨時休館を5月11日まで延長することが決定された。

(3) 休館期間の再延長（～令和元年5月31日）
（令和元年5月5日決定）

5月4日に日本国政府が全国に対する緊急事態宣言を5月31日まで延長し、北海道が特別警戒地域を継続されたことを受け、5月5日に開催されたむかわ町新型コロナウイルス感染症対策本部会議にて、町内観光施設と同様に、穂別博物館の臨時休館を5月31日まで延長することが決定された。

【臨時休館の周知】

・博物館入口に掲示
・むかわ町情報端末（11チャンネル）：穂別地区
・穂別博物館ホームページ
・新聞等（道新など）
・電話やメールなどで問い合わせがあった場合は直接に対応

【博物館事業への影響】

(1) 恐竜デーの中止

春の大型連休と夏休み時期に例年実施している、来館者向け普及事業である「恐竜デー」については、来館者と博物館職員が密に接することとなるため、来館者および職員の安全確保のため中止とした（春の大型連休時期は臨時休館であった）。

(2) 恐竜展2020の延期

カムイサウルス実物化石やレプリカの貸出等で協力予定だった、北海道博物館主催「恐竜展2020」が、当初は夏休み時期に予定されていたが、冬季（2月～3月）に延期となった。

新型コロナウイルスによる臨時休館

Ⅵ－４　協力団体

【穂別博物館協力会】

化石採集の体験学習用地の水洗を実施した。

日程：令和2年6月18日　9:30～11:00
対応：西村学芸員・中村学芸補助員・阿部学芸補助員
協力：穂別博物館協力会（山田正氏・滝川満夫氏・高橋義道氏）

Ⅵ－５　外部連携

【北海道恐竜・化石ネットワーク研究会】

恐竜・化石資源を活用した地域づくりに向け、地域間の連携や産学官の協働による取組の検討及び推進を図ることを目的に、小林快次教授（北海道大学総合博物館）をアドバイザーとして、北海道および関係自治体によって、平成 30 年 1 月 26 日に設置。

現在の構成自治体は、むかわ町、三笠市、中川町、小平町、足寄町の 5 市町。

＜令和 2 年度の活動＞

構成自治体の博物館等施設への周遊を促すために、各自治体の特徴的な化石を題材とした「恐竜・化石カード」を作成して各館にて配布した。異なるカードを 3 種類集めるとレアカード「カムイサウルス」がもらえる仕組みであった。また、カードを収納する「ほっかいどう恐竜・化石マップ」もクラウドファンディングで製作された。

当館では来館者に対し、「ホベツアラキリュウ」カードを配布した。

配布期間：令和 3 年 3 月 10 日－4 月 11 日
（当館配布分は 3 月 27 日に終了）

【モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所】

世界的な恐竜化石の産地であるモンゴル国の科学アカデミー古生物学研究所と、協力に関する覚書（MoU）を締結した。

＜MoU の締結＞

締結項目：モンゴル国モンゴル科学アカデミー古生物学研究所と日本国北海道むかわ町における協力に関する覚書（MoU）

協定締結日：2020 年 9 月 1 日

締結者：むかわ町長
モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所所長

＜令和 2 年度の活動＞

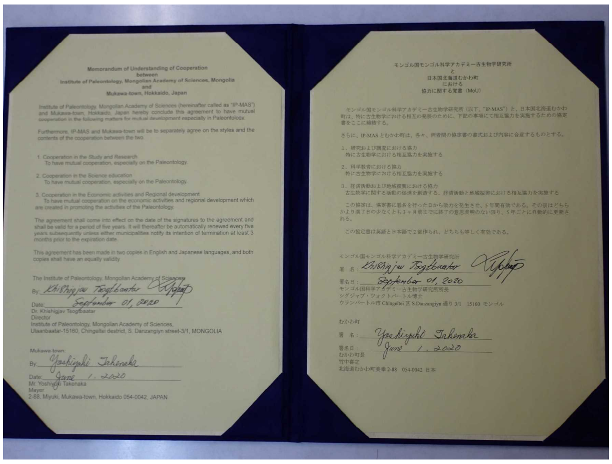
「むかわ竜クラウドファンディングレプリカ町民お披露目会」にて協力いただいた。

日時：令和 2（2020）年 3 月 20 日・21 日
会場：道の駅むかわ四季の館
内容：
①展示協力：モンゴル産恐竜化石頭骨レプリカ（タルボサウルス、サウロロフス、ディノケイルス）の展示
②モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所ツォクトバートル所長による挨拶（リモート出演）

Ⅵ－６　刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230
第 37 号：平成 31・令和元（2019）年度版
39 頁、令和 2（2020）年 9 月発行



モンゴル国との覚書（MoU）

Ⅵ－７　歳入・歳出

【歳入】

区分		有料入館者数	観覧料
一般	個人	10,837	3,111
	団体	265	49
	割引	9	2
学生	個人	2,712	248
	団体	169	9
	割引	0	0
小　計		13,992	3,410
諸収入		物品販売代	7
		体験学習料	13
小　計			20
合　計			3,430

（単位：人・千円）

【歳出】

費　　目	金　額
報　　酬	8,846
職員手当等	1,016
共済費	1,185
報償費	50
旅　　費	767
需用費	8,854
役務費	423
委託料	8,599
使用料及び賃借料	890
工事請負費	0
備品購入費	417
負担金補助及び交付金	45
補填補償及び賠償金	0
博物館費合計	30,076

（単位：千円）

Ⅵ－８　利用案内

【開館時間】

午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

【休館日】

・毎週月曜日。
・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
・12 月 31 日-1 月 5 日。
※7、8 月の夏期休暇期間は無休。

【観覧料】

個人：一般 300 円・学生 100 円
団体：一般 200 円・学生　50 円
一般：高校生より上
学生：小学生・中学生・高校生
幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）
団体：10 人以上

【減免】

「博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町博物館設置条例、第 4 条)」が、「教育委員会は、特別の理由があると認めたときは、観覧料を減免することができる（同条例、第 5 号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町博物館施行規則第 4 条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）
1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。
（研究目的）
2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。
（福祉目的）
3) 老人福祉法(昭和 38 年法律第 133 号)第 15 条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。
4) 知的障害者福祉法(昭和 35 年法律第 37 号)第 19 条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。
（公益目的）
5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

第Ⅶ章　観覧者状況

Ⅶ－１　利用状況

【常設展示観覧者】

平成 2（2020）年 4 月～令和 3（2021）年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館
4	200	36	236	53	289	15
5	0	0	0	0	0	0
6	909	192	1,101	318	1,419	25
7	1,668	543	2,211	520	2,731	29
8	2,847	941	3,788	842	4,630	29
9	1,802	447	2,249	587	2,836	25
10	1,384	244	1,628	325	1,953	27
11	747	136	883	281	1,164	23
12	232	59	291	85	376	26
1	221	51	272	109	381	22
2	351	66	417	165	582	22
3	750	166	916	249	1,165	26
計	11,111	2,881	13,992	3,534	17,526	269

（単位：人・日）

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生
4 月 18 日～5 月 31 日：臨時休館
（新型コロナウイルス感染拡大による）

【博物館特定入館日】

下記を特定入館日とし、むかわ町民の観覧料を無料とした（「北海道みんなの日」については北海道民の観覧料が無料）。

＜博物館開館記念日関連事業＞

7 月 20 日の穂別博物館開館記念日に関連して、令和 2（2020）年 7 月 20 日～7 月 26 日の 7 日間を町民無料入館日とした。

＜国際博物館の日＞

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977 年）にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5 月 18 日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。ただし令和 2 年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となった。

＜化石の日＞

2017 年に国際古生物学協会（International Palaeontological Association）によって、化石や古生物学の普及のきっかけを目的として「国際化石の日」（International Fossil Day）が 10 月第２週末に制定されたことを受け、2018 年に日本古生物学会によって 10 月 15 日が日本国内における「化石の日」として制定された。

当館は古生物を展示する博物館としてその趣旨に賛同して、今年度以降「化石の日」を博物館設置条例第 4 条（別表）に基づき、当日を町民無料入館の日とした。

なお、今年度については 10 月 15 日が休館日に当たっていることから、その前日の 10 月 14 日（月・祝）を「『化石の日』記念特定入館日」とした。

＜北海道みんなの日＞

松浦武四郎が、明治 2（1868）年に明治政府に対して「北加伊道」という名称を提案し、現在の「北海道」の名称の元になったことを記念して、平成 29 年に 7 月 17 日が「北海道みんなの日（道みんの日）」に制定されたのを受け、当日を北海道民の無料入館日とした。

＜博物館特定入館日に伴う町民無料入館＞

（単位：人）

実施日	行事名	一般	学生	計
R02.5.18	国際博物館の日	0	0	0
7.14	北海道みんなの日	8	2	10
7.20-26	博物館開館記念日	11	3	14
9.21	敬老の日	3	0	3
10.14	化石の日	0	0	0
11.3	文化の日	0	0	0
11.23	勤労感謝の日	2	1	3
R03.1.13	成人の日	0	0	0
計	14 日	24	3	30

【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。（平成 14 年度より実施）

無料観覧者：23 人

第Ⅷ章　施設の沿革

Ⅷ－１　沿革

むかわ町穂別博物館は、昭和 57（1982)年に開設され現在に至っている。
昭和 50（1975)年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。
当博物館では「本町（旧　穂別町）で発見される化石（自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文)」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。
そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更した。
ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

Ⅷ－１－１　「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

【穂別町郷土資料館建設の目的】
『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55（1980）年 11 月 26 日＞

【展示更新の基本的考え方】
『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。
旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2（1990）年 6 月 27 日＞

【市町村合併による名称変更】
平成 18（2006）年 3 月 27 日に穂別町と鵡川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

Ⅷ－１－２　沿　革

＊本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。
・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
＊名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50（1975）年
　6 月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。
昭和 51（1976）年
　9 月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センタ–）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。
昭和 52（1977）年
　2 月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鰭の一部であると確認された。
　7 月 5－8 日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。
昭和 53（1978）年
　5 月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
　11 月：穂別町立郷土資料館　開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）
昭和 54（1979）年
　3 月 5 日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第 2 号に指定される。（平成元年 4 月 1 日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）
昭和 55（1980）年
　10 月 16 日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足
昭和 56（1981）年
　3 月 13 日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更
　7 月－12 月：博物館建設工事
　9 月 1 日：鈴木茂学芸員就任（-昭和 60 年 3 月 31 日）
昭和 57（1982）年
　1 月 16 日：長頸竜復元作業開始
　3 月－6 月：博物館展示工事
　7 月 20 日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
　8 月 26 日：「博物館協議会」発足
　11 月 1 日：北海道博物館協会加入
　12 月 19 日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
　12 月 19 日－1 月 23 日：特別展(第 1 回)「よみがえるクビナガリュウ」
昭和 58（1983）年
　3 月 2 日：博物館法による登録博物館となる（北博登第 28 号）
　3 月 28 日：「博物館協力会」設立
　4 月 1 日：日本博物館協会加入
　4 月 28 日：菅原康次（第二代）館長就任
　7 月 22 日－8 月 7 日：収蔵資料展（第 1 回）「地図展」
　8 月 1 日：全国科学博物館協議会加入
　11 月 1 日－3 日：収蔵資料展（第 2 回）「こけし展」
昭和 59（1984）年
　2 月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
　3 月 27 日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
　6 月 14 日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
　11 月 1 日－4 日：収蔵資料展（第 3 回）「古い写真・古い文書展」
　12 月 1 日：桜庭勝美（第三代）館長就任
昭和 60（1985）年
　3 月 30 日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
　5 月 1 日：地徳力学芸員就任（－平成 11 年 3 月 31 日）
　11 月 1 日－10 日：特別展（第 2 回）「北海道一億年」
昭和 61（1986）年
　10 月 21 日－11 月 9 日：特別展（第 3 回）「穂別の自然」
昭和 62（1987）年
　1 月 1 日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
　7 月 28 日－8 月 9 日：特別展（第 4 回）「アンモナイトの系図」
昭和 63（1988）年
　7 月 17 日：第三展示室（保存庫）完成
　8 月 23 日－9 月 4 日：特別展（第 5 回）「穂別のカメ化石」
　10 月 6 日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）
平成元（1989）年
　6 月 30 日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
　7 月 18 日－8 月 20 日：特別展（第 6 回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
　9 月 29 日-10 月 6 日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。
平成 2（1990）年
　7 月 23 日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
　8 月 18 日－9 月 16 日：特別展（第 7 回）「戦争と穂別」
　9 月 3 日－5 日：レィド、M.G.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
　12 月 31 日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）
平成 3（1991）年
　4 月 1 日：佐藤稔（第七代）館長就任
　4 月 28 日、29 日：入館者 10 万人突破記念事業

平成 4（1992）年
2 月 1 日：展示更新工事開始
4 月 23 日－25 日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
4 月 29 日：展示更新完了、一般公開再開
平成 6（1994）年
4 月 1 日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
4 月 1 日：川上源太郎学芸員就任（－平成 10 年 3 月 31 日）
平成 7（1995）年
7 月 15 日－9 月 12 日：川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
8 月 12 日：かせき学習館完成
平成 8（1996）年
7 月 27 日－28 日：96 北海道化石サミット開催（穂別町民センター）
10 月 6 日：大江美津夫（第九代）館長就任
平成 9（1997）年
7 月 6 日、7 月 10 日－8 月 31 日：クビナガリュウ発掘 20 周年記念事業パネル展(第 8 回特別展)
平成 10（1998）年
4 月 1 日：櫻井和彦学芸員就任
6 月 11 日：星功（第十代）館長就任
8 月 11 日－8 月 31 日：特別展(第 9 回)「地球物語り（地質学普及書の近代史)」
平成 11（1999）年
1 月 1 日：山田正（第十一代）館長就任
5 月 29 日：入館者 30 万人突破記念事業
8 月 1 日－8 月 31 日：特別展（第 10 回）「滄龍の泳いだ海-7000 万年前の穂別-」
10 月 5 日－11 月 28 日：特別展（第 11 回）「穂別の自然」
平成 12（2000）年
8 月 1 日－8 月 31 日、9 月 14 日－10 月 1 日：特別展（第 12 回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」
9 月 14 日－10 月 1 日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
平成 13（2001）年
8 月 1 日－8 月 25 日：特別展（第 13 回）「穂別町立博物館の 20 年～クビナガリュウとともに～」
平成 14（2002）年
4 月 28 日－5 月 17 日：特別展（第 14 回）「ツノのある奇妙なカメ～海の穂別からリクガメ化石の発見～」
7 月 1 日－21 日：特別展（第 15 回）「穂別町立博物館の 20 年～クビナガリュウとともに～」（再公開）
7 月 20 日：開館 20 周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」
7 月 27 日－8 月 9 日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
8 月 31 日－9 月 27 日：特別展（第 16 回）「穂別のカメ化石～恐竜時代のウミガメとリクガメ」
平成 15（2003）年
1 月 1 日：清川博之（第十二代）館長就任
7 月 20 日－8 月 31 日：特別展（第 17 回）「穂別を泳いだモササウルス」
11 月 1 日－1 月 31 日：特別展（第 18 回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）
平成 16（2004）年
7 月 17 日－8 月 31 日：特別展（第 19 回）「クジラとデスモスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
10 月 30 日－12 月 12 日：特別展（第 20 回）「火山と地震～佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
平成 17（2005）年
7 月 16 日－8 月 31 日：特別展（第 21 回）「ホベツアラキリュウ発見 30 年」
10 月 29 日－12 月 18 日：特別展（第 22 回）「絵はがきは語る～旅の思い出・昔のまちなみ～」（協力：北海道開拓記念館）
平成 18（2006）年
3 月 27 日：「むかわ町」誕生（穂別町・鵡川町の合併による）、当館の名称を「むかわ町穂別博物館」と改称
3 月 27 日：本多廣行（第十三代）館長就任
7 月 15 日－9 月 3 日：特別展（第 23 回）「貝が語る むかわの一億年」
10 月 28 日－12 月 17 日：特別展（第 24 回）「むかわの自然～山と干潟の生き物たち～」
平成 19（2007）年
4 月 1 日：柏恵一（第十四代）館長就任
7 月 21 日－9 月 2 日：特別展（第 25 回）「むかわの一億年～化石や石が語る五つの海」
11 月 3 日－12 月 2 日：特別展（第 26 回）「鉱業のまち、ほべつ～穂別の炭鉱と鉱山の歴史～」
平成 20（2008）年
7 月 19 日－8 月 31 日：特別展（第 27 回）「海へ帰った動物たち～穂別のセキツイ動物の秘密～」
11 月 1 日－12 月 7 日：特別展（第 28 回）「穂別D遺跡～一万年前の人々のくらし～」
平成 21（2009）年
7 月 18 日－9 月 30 日：特別展（第 29 回）「穂別海竜博物館～穂別を泳いでいた海竜たち～」
平成 22（2010）年
2 月 6 日－5 月 30 日：特別展（第 30 回）「北海道アンモナイト図鑑」
7 月 17 日－10 月 31 日：特別展（第 31 回）「白亜紀ウミガメ化石展」
平成 23（2011）年
3 月 19 日－5 月 29 日：特別展（第 32 回）「白亜紀巨大二枚貝　イノセラムス・ホベツエンシス展」
4 月 1 日：今荘光男（第十五代）館長就任
7 月 23 日－10 月 30 日：特別展（第 33 回）「歯のかたち～クビナガリュウ vs モササウルス～」
12 月 3 日：「モササウルス国際シンポジウム」
平成 24（2012）年
4 月－平成 25(2013)年 3 月：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査　書類申請準備

12 月 25 日－平成 25（2013）年 3 月 6 日：むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託

平成 25（2013）年

4 月 1 日：阿部勉（第十六代）館長就任

9 月 2 日－10 月 5 日：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第一次発掘）

平成 26（2014）年

9 月 1 日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定書」の締結

9 月 4 日－9 月 30 日：穂別産恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第二次発掘）

平成 27（2015）年

4 月 1 日：加藤英樹（第十七代）館長就任

4 月 1 日：西村智弘学芸員就任＜平成 21－25 年普及員（嘱託職員）、平成 26 年学芸員（嘱託職員）＞

9 月 12 日－9 月 30 日：穂別恐竜化石（カムイサウルス、2017 年 1 月にむかわ竜と命名）発掘調査（第三次発掘）

平成 28（2016）年

4 月 1 日：田口　博（第十八代）館長就任

7 月 16 日－11 月 6 日：特別展（第 34 回）「モササウルス展」

7 月 30 日－9 月 18 日：穂別恐竜化石（カムイサウルス）発掘調査（第四次発掘）

平成 29（2017）年

4 月 1 日：むかわ町指定登録文化財第 4 号－10 号が指定される。

9 月 29 日：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）が北海道指定天然記念物として指定される（登録番号第 34 号）。

平成 30（2018）年

4 月 1 日：櫻井和彦（第十九代）館長就任（元・学芸員）

5 月 31 日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町との連携・協力に関する覚書」の取り交わし。

9 月 6 日：平成三十年北海道胆振東部地震発生（むかわ町穂別は震度 6 強）。穂別博物館臨時休館（－9 月 29 日）。

11 月 1 日：「むかわ町穂別の古生物化石群」が北海道遺産に認定される（第 64 号）。

11 月 11 日：むかわ町穂別博物館内に北海道大学総合博物館古生物学研究分室の開設。

平成 31・令和元（2019）年

8 月 23 日：「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定」調印。

9 月 6 日：穂別産恐竜化石記載論文発行、新属新種「カムイサウルス・ジャポニクス」と命名。

令和 2（2020）年

3 月 1 日－31 日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館。

4 月 18 日－5 月 31 日：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館

9 月 1 日：モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所とむかわ町の相互協力協定覚書（MoU）を締結。

開館当時の穂別博物館（1982 年）

現在の穂別博物館外観

第Ⅸ章　施設の概要

Ⅸ－１　施設規模等

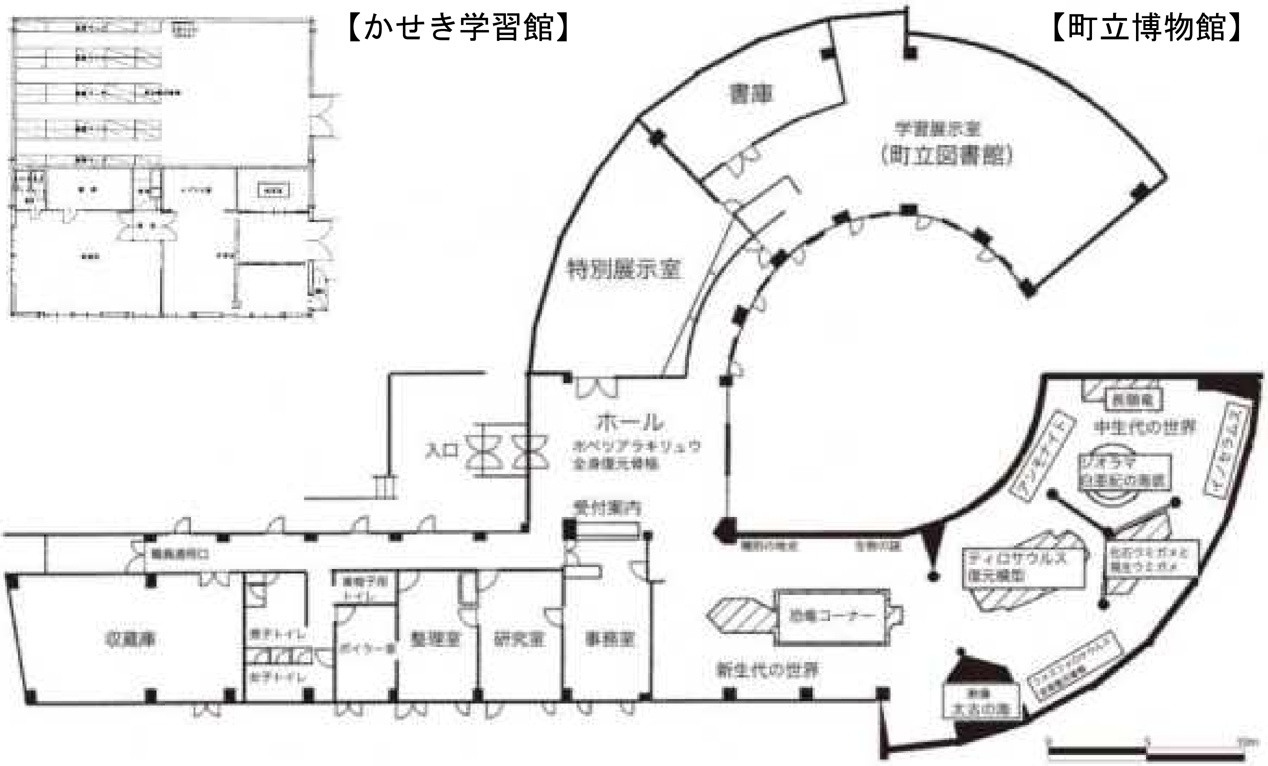
【所在地】
北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

【町立博物館】
＜構造規模＞
建築構造：鉄筋コンクリート平屋建
建築面積：1,100 ㎡
　常設展示室：372.88 ㎡
　特別展示室：　99.08 ㎡
　収蔵庫　　：　85.56 ㎡
　事務室　　：　40.50 ㎡
　研究室　　：　31.50 ㎡
　整理室　　：　29.92 ㎡
　学習展示室：184.75 ㎡
　書庫　　　：　35.05 ㎡
　共用部門　：219.76 ㎡
＜工　　期＞
昭和 56 年度－昭和 57 年度
＜総事業費＞
362,165,000 円

＜展示更新＞
平成 3 年度－平成 4 年度：博物館展示更新工事
　事業費：99,910,000 円（消費税込）
平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作
　事業費：6,890,700 円（消費税込）
平成 21 年度：展示映像機器整備
　「太古の海–クビナガリュウからのメッセージ–」
　事業費：4,116,000 円（消費税込）

【かせき学習館】
＜構造規模＞
建築構造：鉄筋コンクリート平屋建
建築面積：325.89 ㎡
　事務室　　　：　56.70 ㎡
　作業室　　　：　56.70 ㎡
　書庫　　　　：　14.04 ㎡
　レプリカ室　：　12.15 ㎡
　処理室　　　：　12.15 ㎡
　展示物保管庫：162.00 ㎡
　共用部門　　：　12.15 ㎡
＜工期＞
平成 7 年度
＜総事業費＞
57,092,900 円（消費税込）

Ⅸ－２　施設平面図



むかわ町穂別博物館館報
第 38 号
令和 2（2020）年度版

発行　2021 年 12 月
発行者　むかわ町穂別博物館

〒054-0211
北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6
電話・ファックス 0145-45-3141